

第 52 回日本小児神経外科学会報告

富山大学
赤井 卓也

2024年6月7-8日、富山国際会議場にて本会を開催いたしました。元旦の能登半島地震で、会場周辺も液状化で沈んだり、崩れたりしたところもありましたが、学会場は被害がなく開催できました。地震が発生したのは、演題募集期間中ではありましたが、275題の演題応募があり、約450名の皆様が参加してくださいました。テーマは「治療戦略と課題、そして世界へ」でしたが、日々の診療に直結するトピックと世界に向けて発信しようとしている最新の臨床、基礎研究をご発表いただきました。特別講演では、名古屋大学の水野先生が「アカデミアにおける研究シーズの実用と事業」、ソウル大学のPhi先生が韓国の小児脳腫瘍登録システムである「STREAM program」、トロント大学のOtsubo先生が「最新の小児てんかん外科事情」をご講演いただきました。

たくさんの皆様が参加して下さったおかげで、朝から夕まで熱い講演と議論が展開され、大切な学びの場であり、かつ友人と親交を深める場となったものと思います。演題を登録、参加下さった皆様、共催・ご寄付いただいた企業、病院、医師会、富山市、富山県、金沢医科大学脳神経外科同門、富山大学脳神経外科同門、会長の意図に沿ったイラストを描いてくれた旅する漫画家シミ、学会を運営下さったネクステージに感謝申し上げます。

